

金田町人の動き

世帯数	2,193
人口	9,538
男	4,648
女	4,890
入出	23
産亡	40
転出	9
転入	9

かなだ

第75号

金田町報
 発行所 金田町中央公民館
 編集兼発行人 原田豊茂
 印刷所 九州機関紙印刷所

年頭のご挨拶

町長 吉田桃太郎



本町の発展をお祝いできま
すことは、町民の皆様と
ともに私の心から喜びとす
るところであります。
昨年中は皆様の絶大なる
ご協力を賜わり、お陰様
を持ちまして、より良き町
政の実を挙げ得ることが
できましたことを、深く感謝
申し上げます。
本年も幾多の諸問題が山
積されておりますが、これ
等に対処するため、更に一
つとめましよう。

明るい家庭、住みよい町づくり、 つとめましよう

中央公民館

金田町の皆様、めでたく
新年をお迎えのこととお慶
び申し上げます。
新年になりますと、今年
こそは……とお互い希望に
胸をふくらませます。
中央公民館では、明るい
家庭・住みよい郷土を築く
ため、今年も町民の皆様
に、こんなことを心懸けて
いただいたらと願っていま
す。
◇ 交通事故をなくしまし
防ぎましよう

発展と、国民の幸福を祝い
ましよう。
◇ 明るく正しい選挙をお
こなひましよう
今年も町長や、参議院議
員の選挙が行なわれます。
お互に政治意識をたかめ、
情実や金銭にまどわされ
ず、明朗な選挙を行ないま
しょう。
国民の祝日には、全町も
なく国旗を掲げて、国の
しよ。

家庭や広場や空地には、
樹木や花などを植え、町を
きれいに致しましよう。
◇ 祝日には国旗を掲げま
しよ

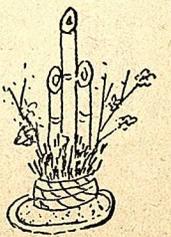
新春の一月十五日午前十時より、新しく成人にな
った青年諸君の前途を祝福するために、中央公民館
において、昭和四十二年成人式を挙行しますの
で、該当者は訪問着など華美な服装はさけ、なるだ
け簡素な服装で出席されるよう御案内致します。
該当者
昭和二十二年四月二日より
昭和二十三年四月一日までに生まれた方
出席者は時間厳行を特にお願ひします。

国をささえる
若い力
陸、海、空、自衛官
募集
総務課(身分、待遇)
特別取の国家公務員で二
士、初任給は月額一五、一〇
〇円はかに各種手当、賞与
年三回、退職金もあります。
(福利、厚生)
衣、食、住は無料、保健
管理にはクラブ、売店など
厚生施設には、特に力を入
りましよう。

成人式御案内

中央公民館

あけましておめでとう
ごいいます



- | | |
|-------|-------|
| 町長 | 竹本あきら |
| 副町長 | 松本雪雄 |
| 町議会議員 | 清水義雄 |
| | 中村正 |
| | 守田保 |
| | 池長幸吉 |
| | 大島陸雄 |
| | 大井政則 |
| | 植高勇太郎 |
| | 浦田由光 |
| | 檜垣米蔵 |
| | 辰島保 |
| | 池田升雄 |
| | 吉田志郎 |
| | 井上明 |
| 名誉公民 | 宇都宮節 |
| | 政光儀七郎 |
| | 辰島藤四郎 |
| | 中村岩四郎 |
| | 宮本政兼 |
| | 市丸勝重 |
| | 持尾繁次 |
| | 大島六郎 |
| | 金山玄暉 |
| | 香月豊 |
| | 木下松蔵 |
| | 植高滝間 |
| | 吉田広三 |

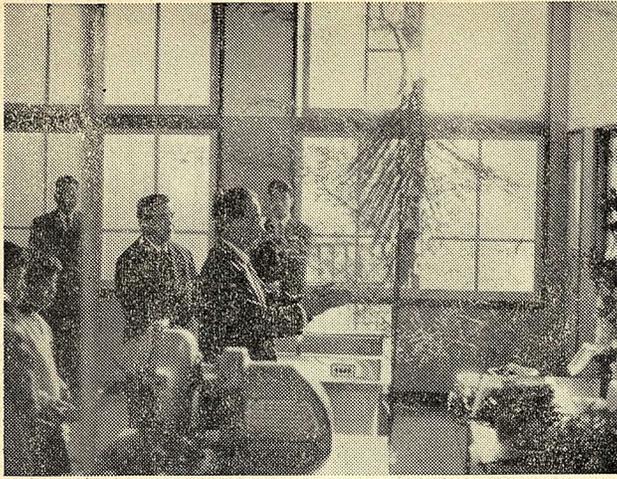
金田小学校

理想的な給食室完成

教育委員会

健康教育が重要視され、ピッチで工事が行われた。その一環として給食教育が十一月二日建坪四〇、八四坪鉄筋コンクリート平屋建学校では健康教育の研究委の見事な給食室の完成を嘱校として、給食教育に力を見た。

設備として、重油バーナをそれぞれ備えた大釜四基、カッター、洗滌器、湯沸かしポイラー、衛生的な上下式牛乳置場、引戸式パシ置場、食器置場や硝子張りを終え、夏期休暇中より急



金田小学校給食室竣工式

給食室入口には消毒用石けん水を備えた手洗い場、給食婦さん専用の休養室やトイレなどを備え、給食受取りや返納に能率的に出来た。

年頭の所感

民生委員 金山 玄暉

光陰は流水の如く、早くも昭和四十三年を迎える事になった。

静かに顧みれば民生委員として福祉事業に協力すること三十年の長きに至った。

就中、主として生活保護法に取り組み、貧困者を無くする事に力を尽してきたが、同法創設以来五十年を経た今日となって、漸く街頭金銭の憐を乞う者もなく、家庭に一食の恵を乞う人もなくなり、最低の生活を営みつつある事実は、この法の効果といわねばならぬ。

しかしながら、なお今後とも炭界不況の影響により、困窮者も出ることであろうから、ますます努力を続け

通路など、行届いた設計施工がなされている。工費は設備費を含めて三八一万六千円を要した。

十一月三日より給食婦さん達が給食教育の一つの支えとして鋭意働いている。

これを契期として学校内の総合的な健康教育計画の中で給食教育が進められて行くことは、児童のためまことに喜ばしい限りである。

下田川四ヶ町 (金田、糸田、方城、赤池) 連合消防出初式案内

総務課

1、日時 1月7日(日曜日) 午前9時半開始

2、場所 糸田町中学校校庭 (雨天のとき、同校体育館)

- | | | | | |
|------|----------|------------|--------|-------|
| 委員長 | 藤村勢津子 | 公民館運営審議会委員 | 宇都宮 節 | 長野 友行 |
| 委員 | 高橋 峯男 | 加治 馨 | 武末 ユキ | |
| | 河井比佐子 | 宮崎 文明 | 木戸 孝雄 | |
| | 宇都宮英一 | 堀 勇次 | 長谷川英彦 | |
| | 友清 隆雄 | 米家 荒雄 | 永富 政信 | |
| | 植高 大澄 | 池田 升雄 | | |
| | 吉田 繁雄 | 地区公民館長 | | |
| | 島津 幸平 | 福田 繁文 | 渡辺 勝由 | |
| | 教育委員会事務局 | 辰島 生 | 花本 惟勝 | |
| 教育委員 | 島津 幸平 | 山内 巖 | 木下 龜市 | |
| 教育委員 | 稲田 初博 | 植田 利雄 | 江頭 和子 | |
| | 若林フサエ | 大井 峯夫 | 藤林 俊信 | |
| | 永富 弘 | 境 清 | 辻 悟 | |
| | 中央公民館 | 山本 寿 | 宮本 徳忠 | |
| 館長 | 原田 豊茂 | 青少年問題協議会委員 | 吉田 桃太郎 | |
| 主事 | 阿部 重宏 | 会長 | 米家 荒雄 | |
| | 田中 靖紀 | 副会長 | 池田 重雄 | |
| | 小西 孝子 | 委員 | 宮崎 隆雄 | |
| | | | 宇都宮英一 | |
| | | | 島津 幸平 | |
| | | | 永富 弘 | |
| | | | 長谷川圭助 | |
| | | | 若林 衛 | |
| | | | 三村光三郎 | |
| | | | 岡 ハツ | |
| | | | 武末 ユキ | |
| | | | 若林 為吉 | |
| | | | 香月 豊 | |
| | | | 藤本富士松 | |
| | | | 原田 豊茂 | |
| | | | 山田 利正 | |

お茶

わたくしは日本人はたいへんお茶がすきで、なにかというときすぐお茶を飲みます。お茶に含まれているカフェインの興奮作用、タンニンの渋味、独特のかおり、味などは、なんともいえない魅力です。

お茶の効用について、茶道の精神的論議は別としても、心がおちつく、心気をさわやかにする、ビタミンCの補給源であり、ねむけをさます、疲れをいやす、などいろいろあげられています。

たしかに、お茶はわた

くしたちの日常生活に欠かせない飲み物です。しかし、その効用を過信するあまり、飲みすぎないようにしましょう。お茶を飲みすぎると、給源としてもあまり期待できません。せん茶百グラム中には二百八十ミリグラムのビタミンCが含まれていますが、わたくしたちの口にはいる場合、ふつうの湯のみ一杯の中には五ミリグラムしかはいておりません。おとな一日のビタミンCの必要量は六十ミリグラムですから、あまり効用があるとはいえないわけです。

結局、お茶は純粋に、し好品として「飲みすぎない」ように飲むことが肝心です。(中央公民館)

- | | | | |
|----|-------|----|-------|
| 校長 | 加治 馨 | 校長 | 宮崎 文明 |
| 教頭 | 小野 義春 | 教頭 | 木村 教正 |
| | | | 山田 利正 |
| | | | 原田 豊茂 |
| | | | 藤本富士松 |
| | | | 香月 豊 |
| | | | 若林 為吉 |
| | | | 武末 ユキ |
| | | | 岡 ハツ |
| | | | 長谷川圭助 |
| | | | 若林 衛 |
| | | | 三村光三郎 |
| | | | 宇都宮英一 |
| | | | 島津 幸平 |
| | | | 永富 弘 |
| | | | 長谷川圭助 |
| | | | 若林 衛 |
| | | | 三村光三郎 |
| | | | 岡 ハツ |
| | | | 武末 ユキ |
| | | | 若林 為吉 |
| | | | 香月 豊 |
| | | | 藤本富士松 |
| | | | 原田 豊茂 |
| | | | 山田 利正 |